

講演者等プロフィール(東京会場)

< 講師 (五十音順) >

春日 文子 (かすが・ふみこ)

食品安全委員会微生物専門調査会専門委員、ウイルス専門調査会専門委員、緊急時対応専門調査会専門委員。

国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第三室長、農学博士、獣医師。

昭和57年東京大学農学部畜産獣医学科卒業、63年東京大学大学院博士課程修了。国立予防衛生研究所(現、国立感染症研究所)入所、平成14年国立医薬品食品衛生研究所へ異動、同年7月に現職。厚生労働省薬事・食品衛生審議会専門委員、日本学会議会員、国際食品微生物規格委員会(ICMSF)委員も務めており、文部科学省学校給食衛生管理研究協力者会議、FAO/WHO 専門家会合にも参加してきた。

食品衛生学、特に微生物学的リスク評価手法の研究を行うほか、保育所保健衛生や学校給食衛生の指針作りにも関わる。東京大学や明治大学において非常勤講師を務める。

工藤 由起子 (くどう・ゆきこ)

食品安全委員会微生物専門調査会専門委員。

国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部主任研究官、獣医学博士、獣医師。

昭和62年東京農工大学農学部獣医学科卒業、平成元年東京農工大学大学院修士課程修了。

平成元年国立予防衛生研究所(現、国立感染症研究所)入所、平成14年国立医薬品食品衛生研究所へ異動、現在に至る。

食中毒細菌を中心とする食品微生物学を専門とし、食品からの食中毒細菌の検出方法の策定や食品微生物に関連した食品の規格基準の設定などに携わっている。

中村 政幸 (なかむら・まさゆき)

食品安全委員会微生物専門調査会専門委員、動物用医薬品専門調査会専門委員。

北里大学獣医畜産学部教授、農学博士。

昭和43年東京農工大学獣医学科卒業、昭和45年同大学院修士課程修了、昭和48年9月東北大学大学院農学研究科博士課程修了。

農林水産省動物医薬品検査所 鶏病製剤第2検査室長、細菌製剤検査室長などを経て、平成7年より、現職。

日本獣医学会・家禽疾病学分科会会長、鶏病研究会・常任理事(専門委員会担当)、食品衛生学会・評議員、獣医疫学会・理事、動物用抗菌剤研究会・理事なども務める。

西尾 治 (にしお・おさむ)

食品安全委員会ウイルス専門調査会専門委員。

国立感染症研究所客員研究員、医学博士、獣医師。

昭和43年鳥取大学農学部獣医学科卒業、昭和45年年鳥取大学大学院修士課程修了。

昭和45年愛知県衛生研究所入所、平成6年国立公衆衛生院衛生微生物学室長、平成14年国立感染症研究所感染症情報センター第六室長、平成18年同退職。

厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員、文部科学省学校給食衛生管理推進委員も務める。

ウイルス性食中毒の研究を行うほか、厚生労働省のノロウイルス Q&A、ノロウイルスおよびA型肝炎ウイルスの検査法の作成に携わる。東京大学において非常勤講師を務めた。

牧野 壯一 (まきの・そういち)

食品安全委員会微生物専門調査会専門委員。

国立大学法人帯広畜産大学・大動物特殊疾病研究センター長・有害食品微生物研究分野・教授、医学博士、獣医師。

昭和54年帯広畜産大学畜産学部獣医学科卒業、60年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。

東京大学医科学研究所細菌研究部助手、マックスプランク生物学研究所研究員、国立公衆衛生院人畜共通感染症室長を経て、平成7年帯広畜産大学畜産学部獣医学科助教授として転出後、平成15年に現職。

渡邊 治雄 (わたなべ・はるお)

食品安全委員会微生物専門調査会座長、緊急時対応専門調査会専門委員、企画専門調査会専門委員。

国立感染症研究所副所長(現職)、医学博士、医師。

昭和50年群馬大学医学部卒業、55年群馬大学大学院博士課程修了。

同年国立公衆衛生院入所。昭和60年国立予防衛生研究所(現、国立感染症研究所)細菌部室長、昭和63年同細菌第一部長、平成13年岐阜大教授(併任)、平成16年4月に現

職、平成17年東京大学医学部教授(併任)。厚生労働省科学審議会臨時委員、同感染症分科会員、厚生労働省薬事・食品衛生審議会食中毒部会員、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、日本学術会議連携会員等も務める。

細菌学を専門として、病原性の分子機構の解析、分子疫学的解析法の開発を行い、細菌感染症の制御に貢献することを志している。

< パネリスト (講師を除く、五十音順) >

市川 まりこ (いちかわ・まりこ)

財団法人日本消費者協会、消費生活コンサルタント。

食品安全委員会企画専門調査会専門委員。

全国消費者団体連絡協議会食のグループ委員や食のコミュニケーション円卓会議の代表も務める。

古賀 涼司 (こが・りょうじ)

日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社執行役員商品ユニット / QAユニット担当。

日本大学大学院農学研究科修士課程修了。

乳業会社研究室を経て、1985年日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社入社。入社以来22年研究開発部門にて商品開発業務を担当する傍ら、委託工場の品質管理指導、KFC店舗の衛生管理指導に携わり工場と店舗の品質管理、衛生管理の知識と経験を積む。

柴田 勲 (しばた・いさお)

全国農業協同組合連合会(全農) 家畜衛生研究所所長。

宮崎大学獣医学専攻修士課程修了、獣医学博士。

昭和54年全農入会、以来、家畜衛生の試験研究に携わる。

下田 誠 (しもだ・まこと)

株式会社マルエツ品質管理センター課長。

1979年にCVS LASON社に入社、チルド・冷凍食品のバイヤーを経験(PB商品の開発)し、コンビニエンスの冷蔵食品の物流およびドライ物流の基礎を構築、さらに店舗開発、

店舗運営、商品の地区責任者を経て米飯惣菜分野の品質管理面の強化を担ってローソン品質改善研究会を立ち上げ食品工場の衛生管理、品質管理の改善指導を行ってきた。2003年より現在のマルエツに入社。食品スーパーの衛生管理の強化及び商品開発の基準・基礎作りを行い、現在に至る。

高浜 彰 (たかはま・あきら)

全国漁業協同組合連合会漁政・国際部部長代理。

食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会専門委員。

1984年に水産大学校増殖学科を卒業し、同年に全国漁業協同組合連合会入会。

水産物の安全・安心、食育、資源管理などを主に担当している。